

トマト生産者 河口 康広さんへインタビュー



地域で営農されている方にお話を伺ってみました!!

Q1 農業を始めたきっかけは何でしょうか？

私が小学生の時に、父親がこちらの横島地区に入植しました。最初は、農業とは別にしたいことがありましたが、高校を卒業する頃には自然と農業の道に進んでいました。

最初の頃は、様々なことに挑戦したいという気持ちがあったため、兼業という形を選びいろいろな経験を積みました。子供が生まれ、農業が安定したタイミングで専業に切り替え、今に至ります。

Q2 農業をやっていて一番うれしい瞬間及び苦勞されたことはなんですか？

長年農業をやっていますが、一番うれしい瞬間は初収穫の時です。これは毎年感じています。一番苦勞していることは、病害虫との戦いです。防虫ネット等の対策をしても侵入するため大変苦勞しています。

Q3 農業をやっていく上で、大事なことがあれば教えてください。

農家の方は、農作業に力を入れてしまいがちですが、将来を見据えた経営をしていくことが重要であると感じています。農業の発展には、経営力とやる気を兼ね備えた人たちが増えていくことが必要だと思えます。

Q4 国の事業を行ったことで、農業への影響は感じていますか？

国の事業には感謝しています。この干拓地は、農地の区画も広く整っており、農業をやる上では申し分ないです。堤防の改修(嵩上げ・消波工設置)によって、かつて悩まされた高潮・波浪による塩害もなくなりました。

また、昔は不法投棄やポイ捨てなどが多かったのですが、堤防の改修だけではなく環境整備を行ってもらったおかげで、今ではウォーキングや野鳥観察する方が増え、地区の健全化に繋がっていると感じています。